

美 楽 舎

B i G a K u S Y a
News letter

No. 372

会報 第 372 号 (令和 4 年 10 月発行)

HP: <http://bigakusya.com>
Mail: info@bigakusya.com

第 396 回 (9 月) 例会

自習

投稿はありませんでした。

某日月誌

ぼうじつげっし



○9月某日：「学年誌100年と玉井力三」（9月16日～11月15日）日比谷図書文化館へ、山下裕二の講演を聴きに行き見る。「依頼を受けたのは平成三十年のことで、それまでこの画家の名前はまったく知らなかった。」（山下・文）という通りだが、本屋で漫画誌を買うときには何冊も学習誌を見るわけで、絵自体は見ているわけだ。キャンバスに油彩画というのは意外だった。しかもモデルなしかと思っていたら、モデルを写真に撮り、それを元に描いていたのだった。講演時に山下がモデルの人は来てませんよねと云ったら、前列の自分の前の席の人（男）が手を挙げて、一冊を持ち当時モデルになりました原画も倉庫に何点かありますとの事。図録は市販本なので古本屋で安く買うことにした。展覧会出品の油彩画作品は写実的で巧く、こちらの本画の方もまとめて見てみたい、画壇に並ぶ実力はあったと思うが、当時はこれ位の技量の人は多くいて、埋もれたのかも知れない、技量より個性の方が上回った時代だった。まあ今もそうか。

○10月某日：「鴨居玲展—人間とは何か？」（9月14日～12月4日）中村屋サロン美へ、始めに年表をじっくり読み込むと、57歳で自死している、父が57歳で亡くなっているので、その年齢を選んだのではないかな、鴨居だけにかもいに首を吊り自死したのではないかな、《自画像・首吊り》の襖絵の展示もあった。亡くなる前まで自画像に執着していたのだ。図録は薄いのに2千円以上してたので買わなかった。

○某日：「片山健の油彩画展 濃密な記憶と懐かしい匂い」（10月1日～11月13日）

吉祥寺美へ、受付フロアには沢山の絵本などがあり、まずはそこをチェックして、「マッチのとり」（昭和57年600部限定）3850円、「Cut（カット）1985—1998」（00年）1100円、絵本「むかしむかし」（誌・谷川俊太郎）1540円を買った。ビリケンで図録は印刷遅れで7日から発売と聞いていたが、来たのは前日だったが、やはり未だだっ